

「木崎地域実行計画」の検討の進め方

ワークショップと地域別の「実行計画」の関係

● 地域のみなさんとの協働で地域の計画を策定

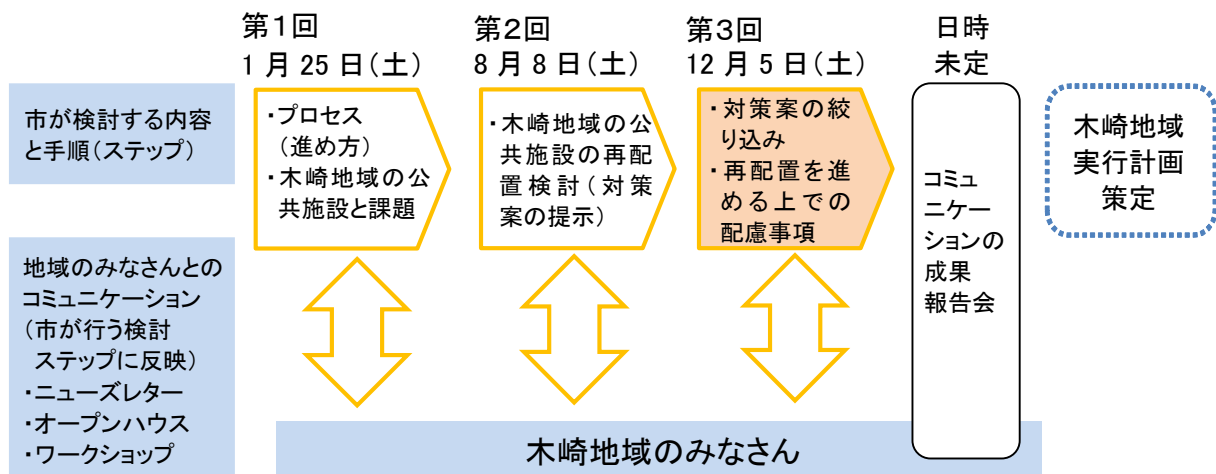
平成27年7月に策定した「財産経営推進計画（公共施設マネジメント編）」では、中学校区を基本単位とした地域ごとに、地域市民のみなさんと協働で、身近な施設の最適化に向け、将来のあり方を示す地域別の「実行計画」を策定するとしています。

ワークショップは、この実行計画を策定するにあたり、市民のみなさんと市との協働を実現するための重要な機会のひとつです。

ワークショップなどで得られたみなさんのご意見をもとに市が検討を行い、「木崎地域実行計画」を策定します。

● 検討のスケジュール

市は、ワークショップを始めとする木崎地域のみなさんとのコミュニケーションで得られた成果をもとに、「木崎地域実行計画」を策定します。



【 協働で行う作業 】

- プロセス（進め方）：はじめにワークショップの進め方を考えます。
- 木崎地域の公共施設と課題：解決すべき地域の課題を整理します。
- 再配置の検討：具体的で実行可能な対策案を複数考えます
- 比較検討：複数の対策案を比較・評価し、対策案を絞り込みます。
- 配慮事項：再配置を進める上で配慮すべき事項を整理します。

● コミュニケーション

「木崎地域実行計画」の検討では、地域のみなさんとさまざまなコミュニケーションを進めていきます。

ワークショップ（WS）

ステップごとの検討の内容について、ご参加のみなさんの間でグループ討議によりご議論いただき、その成果をとりまとめます。

広報紙（NL：ニュースレター）

ワークショップや市の検討の状況を地域のみなさんにお伝えするための広報紙です。

パネル展示型説明会

（OH：オープンハウス）

検討の状況を示したパネルを地域の施設に展示し、地域のみなさんにお伝えします。



● ワークショップの概要

- ・ ワークショップは、令和2年12月までに3回の開催予定です。
（第1回 1月25日、第2回 8月8日、第3回 12月5日）
- ・ 開催は、原則として土曜日午前の予定です。
- ・ 開催会場は、原則として木崎コミュニティセンター ホールを利用します。
- ・ 事務局は、北区地域総務課および財務部財産活用課が担当します。
- ・ ワークショップには、コミュニティ木崎村の役員、地域内の自治会、小中学校PTA、地域内の公共施設利用団体などから推薦を受けた方や、公募に応募していただいた方などが参加します。
- ・ 同じ参加者に継続してご参加いただき、議論を深めていきます。
- ・ ワークショップでは、参加者の皆さんにグループ討議で自由にご議論いただきます。
- ・ 一般の傍聴者や報道陣が会議を傍聴することもあります。

● 会議の進め方

- ・ グループ討議の運営では、円滑な議論のため、第三者的立場のファシリテーター（司会進行）がお手伝いします。
- ・ ワークショップでは、グループごとの議論を中心に進め、会の最後に各グループの議論の結果をファシリテーターがまとめて発表し、後日、各回の成果として取りまとめます。
- ・ グループ討議の途中での議論は記録を取りませんので、自由闊達^{かつたつ}で前向きな議論をお願いします。
- ・ 市に対する要望・陳情の場ではありません。

（管理上の都合から会場内で録音・撮影する場合がありますをご了承ください。）

● ワークショップの成果

- ・ 各回の成果については記録として残します。
- ・ ワークショップでの議論の成果は、市が「木崎地域実行計画」を策定する際の基礎情報としても活用します。

（参考）ファシリテーターのご紹介

～みなさんの議論を円滑に進めるために、第三者的立場から議事進行やとりまとめをお手伝いします。よろしくお願いします。～

篠田 さやか	オフィスキュア（リモート参加）
水戸部 智	特定非営利活動法人 aisa
桑田 正寛	特定非営利活動法人 aisa
増田 望未	特定非営利活動法人 aisa

●ワークショップへの参加にあたって

話し合いに積極的に参加しましょう

自分の考えを率直に述べましょう

前向きな思考で発言しましょう

評論家ではなく当事者として関わりましょう

他の参加者の意見に耳を傾けましょう

気持ちよく運営できるよう協力しましょう

議論や運営に貢献する姿勢を讃えましょう

（必要があれば追加しましょう）